

The background is a solid blue color with a pattern of white and light blue geometric shapes. These include concentric circles, arcs, and dashed lines with arrows indicating a clockwise direction. Some of the arcs have numerical labels: 40, 150, 160, 170, 180, 210, 220, 230, 240, 250, and 260.

# 環境基準適合ラベル取得の手順について

一般社団法人日本自動車車体工業会  
環境委員会 架装物リサイクル分科会

# 本日の流れ

1.環境基準適合ラベル制度(JABIA規格 E0001-2025)の紹介

2.取得の手順説明、申請書類作成

- ・3R「判断基準」ガイドライン
- ・「製造者名」の表示
- ・「樹脂部品材料名」の表示
- ・「解体マニュアル」の作成及び、公開
- ・環境基準適合ラベル交付申請書
- ・申請と購入

3.質疑応答

# 1.環境基準適合ラベル制度(JABIA規格\_E0001-2025)の紹介

## 車体工業会のHP



## 環境保全に向けた取組み



## 制度の規格

### JABIA

自動車車体規格

環境基準適合ラベル及び新環境基準適合ラベルの  
交付基準及び交付申請要領

E0001-2025

2025年3月5日

一般社団法人 日本自動車車体工業会  
環境委員会 装飾物リサイクル分科会

- ・制度制定の目的
- ・適用範囲
- ・各環境基準適合ラベルの要件

## 1. 制定の目的

(一社)日本自動車車体工業会(以下、当会と記載する)会員が、自ら又は委託して設計・製造する商用車架装物、トレーラ及びコンテナに対し、本規格を遵守した製品に「環境基準適合ラベル(ホワイトラベル)」及び「新環境基準適合ラベル(ゴールドラベル)」(以下、各環境基準適合ラベルと記載する)を貼付けすることにより、環境に配慮した製品であること、及び解体・リサイクルしやすい製品であることを広く世間にアピールし、リサイクルの促進を図ることを目的とする。

## 2. 適用範囲

この規格は、当会会員が製造する全ての商用車架装物、トレーラ及びコンテナ(以下、機種と記載する)に適用することができる。なお上記の商用車架装物には「各環境基準適合ラベルの対象とならない二次架装」【添付資料1】を除く二次架装も含むものとする。

## 3. 各環境基準適合ラベルの要件

各環境基準適合ラベルを申請する機種は以下の要件を満足していること。  
各環境基準適合ラベルの要件に対する実施基準は【添付資料2】による。

### 3-1 環境基準適合ラベルの要件

- (1) 機種の製作に当たり、「3R判断基準ガイドライン」を作成及び運用している。
- (2) 「機種別解体マニュアル」を作成及び公開している。
- (3) 機種に「製造者名」を表示している。
- (4) 機種に「樹脂部品材料名」を表示している。

### 3-2 新環境基準適合ラベルの要件

環境基準適合ラベルの要件に以下の要件を追加する。

- (5) 「機種のリサイクル可能率」が95%以上である。
- (6) 「重金属4物質(環境負荷物質)フリー宣言」を行っている。
- (7) 「環境認証取得工場」で生産されている。

## 2.取得の手順説明、申請書類作成

### 3R「判断基準」ガイドライン（車体工業会のHP）

#### 「新環境基準適合ラベル（通称：ゴールドラベル）」貼付基準

このたび、“より環境にやさしい架装物”をめざし、新たな3要件を追加した「新環境適合ラベル（通称：ゴールドラベル）」を追加設定いたしました。(2011年4月から施行)

[ゴールドラベル取得機種一覧はこちら](#)

・ [JABIA規格](#)

・ [各環境ラベル申請及び購入フロー](#)

・ [環境（ラベル）申請書類ダウンロード→](#)

・ [JABIA SHOP→](#)

#### 環境・新環境基準適合ラベル

用紙名

詳細資料

環境・新環境基準適合ラベル（ホワイト・ゴールドラベル）交付申請書

[ダウンロード](#)

JABIA規格  
E0001-2025

[3R判断基準ガイドライン](#)

[ダウンロード](#)

JABIA規格  
E0001-2025



# 3R「判断基準」ガイドライン

ダウンロードするとWordファイルが立ち上がりますので、  
一読していただいてから、「作成日、会社名」を記載して保存してください。

日本自動車車体工業会 環境委員会事務局行き [kankyo@jabia.or.jp](mailto:kankyo@jabia.or.jp)

作成日： 年 月 日  
会社名：

商用車架装物に関する3R「判断基準」ガイドライン

会社名： は、自ら又は委託して設計・製造する商用車架装物に関して、  
当ガイドラインを遵守するように努める。

| リデュース（減量化）                   |  |
|------------------------------|--|
| 当社は、架装物に係る使用済物品等の発生量の抑制に努める。 |  |
| 判断基準                         | 判断基準ガイドライン                                   |
| 1. 原材料等の使用の合理化               | 1. 構造部の小型化、薄肉化（軽量化）、その他の処置により原材料の使用の合理化に努める。 |
|                              | 2. 架装物に本来要求される安全性、耐久性、便利性、荷役性、作業性等           |

# 「製造者名」の表示

**JABIA規格\_E0001-2025**の【添付資料2】に沿って表示してください。

会社名と製造番号が分かれば良いので、製品に貼られている製造プレート等でも可です。

- (1) 「製造者名」は、解体・リサイクルに関する情報を提供できる製造者を明示する。
- (2) OEM生産車の場合は、委託側の製造者名を表示する。
- (3) 当会会員が機種の製造又は架装を当会会員の車体メーカーに委託する場合の製造者名は、両者の取決めによるものとする。
- (4) 「製造者名」には、貼り付けられた製品を特定できる符号（製造番号、型式、年式等）を表示する。
- (5) 「製造者名」の表示は、シール、オーナメント、プレスによる浮き出し等によって行う。文字高さは3 mm以上とし耐久性、耐候性を有する方法で行うこと。
- (6) 「製造者名」の表示位置は、完成車状態で機種の見易い位置、原則としてキャブバック側又は前方部とする。

(表示例)

|      |           |
|------|-----------|
| 製造者名 | 〇〇自動車株式会社 |
| 製造番号 | AB-00321  |

# 「樹脂部品材料名」の表示

**JABIA規格\_E0001-2025【添付資料2】**に沿って表示してください。

(1) 質量が100グラム以上の樹脂部品（FRP、断熱材を含む）には、ISO1043で規格化された記号又は一般的に呼ばれている名称（FRP、発泡ウレタン等）を表示する。

(2) 表示方法は以下の方法によること。

① 部品に消えにくい方法で表示する。

② 製造者名表示に追記する。

③ 材料表示プレートを作成し表示する。

材料表示プレートは製造者名表示の近傍に貼り付ける。

（表示例）

| 架装物樹脂材料表 |          |
|----------|----------|
| 受木、スペーサ  | 再生プラスチック |
| 外板       | FRP      |
| 断熱材      | 発泡ウレタン   |



# 「解体マニュアル」の作成及び、公開

## 解体マニュアルの要件(JABIA規格\_E0001-2025【添付資料4】)

- (1) 「機種別解体マニュアル」は「解体マニュアル作成基準」 【添付資料4】 を満足したものを作成する。
- (2) 「機種別解体マニュアル」を下記①～③の何れかの方法で公開する。
  - ① 自社のホームページで公開する。
  - ② 電話等で依頼を受けた場合、メール又は印刷物等により送付することができる。
  - ③ 同一機種の年間生産台数が10台以下の場合、危険部位、環境負荷物質の使用部位、解体に必要な情報等が機種に表示されているか、又はこれらの資料が要求時即時に開示できる体制が整っている。

## 解体マニュアル作成基準(JABIA規格\_E0001-2025【添付資料4】)

一般社団法人 日本自動車車体工業会  
環境委員会 架装物リサイクル分科会

**解体マニュアル作成基準**

(一社)日本自動車車体工業会(以下「車体工業会」という)会員は、自ら又は委託して設計・製造する商用車架装物、トレーラ及びコンテナ(以下、機種と記載する)について、本基準を遵守した解体マニュアルを作成し公開することで、リサイクル及び適正処理の促進に努める。

1. 目的  
使用済機種のリサイクル及び適正処理(法規遵守事項、作業の安全、環境保全)の為に注意事項、手順を示すことでリサイクルの促進に資することを目的とする。
2. 機種の種類  
機種の名称は原則として『車体工業会の区分』による。

6. 一般公開  
解体マニュアルは各製造事業者のホームページに掲載し一般に公開する。自社ホームページがない、または掲載しない場合、機種本体に表示するか取扱説明書に記載する。また、解体業者から要求があった場合は印刷物を配布する。
7. 少量生産機種の取り扱い  
同一機種の年間生産台数が10台以下の場合、危険部位、環境負荷物質の使用部位、解体に必要な情報等を機種に表示するか、又はこれらの資料が要求時即時に開示できる体制を整える。
8. 問い合わせ先  
解体マニュアルの内容に関する問い合わせ先として、会員企業名と連絡先を記載する。

車体工業会HP – 環境保全に向けた取組みの中に  
既に公表されている解体マニュアルが公開されています。



The screenshot shows a webpage with a header image of a lush green forest. Overlaid on the image is the text: 環境保全に向けた取組み (Initiatives for Environmental Conservation), - 解体マニュアル掲載HP一覧 - (List of Disassembly Manual Posting Websites), and Think about environment. Below the image is a breadcrumb trail: TOP > 環境保全に向けた取組み > 解体マニュアル掲載HP一覧. The main content area contains two paragraphs of text and a grid of seven blue buttons with white text and downward arrows, representing different vehicle types.

環境保全に向けた取組み  
- 解体マニュアル掲載HP一覧 -  
Think about environment

TOP > 環境保全に向けた取組み > 解体マニュアル掲載HP一覧

個別機種に関する「解体マニュアル」一覧です。各社HPで確認してください。  
また、下記に関するお問い合わせは各社の担当部署へお願いいたします。

|           |         |                |         |
|-----------|---------|----------------|---------|
| 特装<br>▼   | 特種<br>▼ | トラック<br>▼      | バン<br>▼ |
| トレーラ<br>▼ | バス<br>▼ | テールゲートリフタ<br>▼ |         |



貴社にて製造されている製品と同類の製品の解体マニュアルを参考にご作成してください。(例：極東開発工業のダンプ)

(作成していただく解体マニュアルの説明図用に貴社で発行されている取扱説明書、パーツリスト等があれば、準備しておくと思います。)

ダンプ架装物解体マニュアル 各部名称

車

注記) 上記図は一般的ダンプを例に表示しており、車格及びダンプ仕様により形状等が異なる場合があります。

| 番号 | 各部名称     | 番号 | 各部名称         |
|----|----------|----|--------------|
| 1  | ダンプ荷台    | 10 | リヤバンパー       |
| 2  | サブフレーム   | 11 | サイドバンパー      |
| 3  | ダンプホイス機構 | 12 | スベアタイヤキャリア   |
| 4  | ポンプ      | 13 | ツールボックス      |
| 5  | 配管&ゴムホース | 14 | クリス給油装置      |
| 6  | 自重計&ホース  | 15 | 外装部品         |
| 7  | ドライブシャフト | 16 | 油圧防止装置       |
| 8  | リボルト等    | 17 | テールゲート等のバッキン |
| 9  | リヤフェンダー  | 18 | 天幕           |

| ダンプ架装物解体マニュアル |          |   |                           |
|---------------|----------|---|---------------------------|
| 品目番号          | 品目名      | 解体方法  | 注意事項                      |
|               | 事前処理・1   | ダンプ荷台が空であることを確認し、外装部品を取外して下さい。<br>(サイドバンパ、スベアタイヤ、ツールボックス、リヤフェンダー等)  | 取扱説明書の安全作業に準じて下さい。        |
|               | 事前処理・2   | 荷台が下りた状態(走行状態)で作業します。<br>ダンプ用ポンプの低・高圧のフランジを外し、作動油を抜いて下さい。<br>オイルパンは油圧機器を取り外すまで、用意して置いて下さい。<br>標準型の作動油量は、小型車約6リットル、中型車約8リットル、大型車約35リットルです。 | 作動油を受けるためのオイルパン等を用意して下さい。 |
| 車両全体          | ダンプヒンジ   | ダンプヒンジのピン又はシャフトを抜いて下さい。   | 周囲の安全を確認して下さい。            |
| 車両全体          | ダンプ荷台全体  | 天井クレーンを使用して、ダンプ荷台を水平に吊り上げて下さい。<br>ダンプ荷台とダンプホイス機構を繋いでいる、ピン・ボルト等を外し、ダンプ荷台をシャシから降ろして下さい。   | ワイヤ掛けを確実にし、安全確認して下さい。     |
| 車両全体          | ダンプ荷台降ろし | オイルタンク、配管等を外し、ダンプホイス機構を降ろして下さい。<br>ダンプ用ポンプ、ドライブシャフト等を外して下さい。  | クレーン等を使って安全に注意して下さい。      |
| 車両全体          | ダンプホイス機構 | クレーン等を使って安全に注意して下さい。  | クレーン等を使って安全に注意して下さい。      |
| 車両全体          | サブフレーム固縛 | リボルト等を外して、サブフレームをシャシから降ろして下さい。  | クレーン等を使って安全に注意して下さい。      |
| 1             | ダンプ荷台    | 溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。   | 切断フューム、粉塵等に注意して下さい。       |
| 2             | サブフレーム   | 溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。<br>(小型ダンプやトレーラダンプ等でサブフレームのない場合があります。)   | 切断フューム、粉塵等に注意して下さい。       |
|               | ダンプ      |   |                           |

# 解体マニュアルのテンプレートも用意してあります。（車体工業会のHP）



一般社団法人 日本自動車車体工業会  
Japan Auto-Body Industries Association Inc.

キーワード検索

生産台数 ▶ 車体NEWS ▶ ENGLISH

お問合せ

団体情報 新着情報 安全への取組み 環境保全に向けた取組み 入会案内 車体工業会ってなに？ ≡ ALL

申請関連

環境基準適合ラベルの  
交付申請について  
もっとみる ▶

各種申請用紙  
ダウンロード  
もっとみる ▶

JABIA SHOP  
もっとみる ▶

環境・新環境基準適合ラベル

| 用紙名                              | 詳細資料   |                       |
|----------------------------------|--------|-----------------------|
| 環境・新環境基準適合ラベル（ホワイト・ゴールドラベル）交付申請書 | ダウンロード | JABIA規格<br>E0001-2025 |
| 3R判断基準ガイドライン                     | ダウンロード | JABIA規格<br>E0001-2025 |
| 解体マニュアル テンプレート                   | ダウンロード | JABIA規格<br>E0001-2025 |

# 必要事項を順々に記載して行くことで解体マニュアルが作成出来るようになっています。

## Wordファイルなので取り扱いが容易です。

《解体マニュアルテンプレート》  
解体マニュアル作成の助けになるよう、テンプレートを用意しましたので、ダウンロードしてご活用ください。  
なお、本テンプレートは主に特設部会の製品の解体マニュアルを参考にしていますが、この形式に限定するわけではありません。  
車体工業会ホームページには、会員様が作成した多くの解体マニュアルが部会ごとにまとめて掲載されています。文章のみで構成したものから、手順ごとに図や写真を用いて詳細に説明したものまであります。  
参考にしていただき、各会員様の状況に合った解体マニュアルの作成を行ってください。

年 月 日

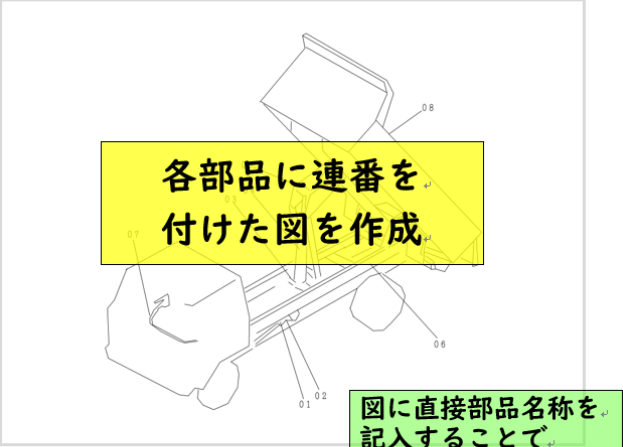
社名入力

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

架装物の種類 (製品名)

- 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承願います。
- 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「解体マニュアル（車体工業会共通）」を併せてご覧ください。
- なお、本情報は解体に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては解体事業者様のご判断で行ってください。

1. 各部の名称



各部品に連番を付けた図を作成

図に直接部品名称を記入することで下の一覧表を省略することも可

| 番号 | 各部の名称    | 番号 | 各部の名称     |
|----|----------|----|-----------|
| 1  | 部品 1 の名称 | 8  | 部品 8 の名称  |
| 2  | 部品 2 の名称 | 9  | 部品 9 の名称  |
| 3  | 部品 3 の名称 | 10 | 部品 10 の名称 |
| 4  | 部品 4 の名称 | 11 | 部品 11 の名称 |
| 5  | 部品 5 の名称 | 12 | 部品 12 の名称 |
| 6  | 部品 6 の名称 |    |           |
| 7  | 部品 7 の名称 |    |           |

図に対応した表を作成

|    |          |                         |  |
|----|----------|-------------------------|--|
| 3  | 部品 3 の名称 |                         |  |
| 4  | 部品 4 の名称 | ～は専門業者に委託して適切に処理してください。 |  |
| 5  | 部品 5 の名称 |                         |  |
| 6  |          |                         |  |
| 7  |          |                         |  |
| 8  |          |                         |  |
| 9  |          |                         |  |
| 10 |          |                         |  |
| 11 |          |                         |  |
| 12 |          |                         |  |
| 13 |          |                         |  |

解体手順の表を作成

3. 問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関して、問い合わせ事項等ございましたら下記までお願い致します。

社名 部署名

電話番号



# 環境基準適合ラベル交付申請書

車体工業会のHP 解体マニュアルのテンプレートと同じ  
カテゴリーの中に申請用紙もあります。

| 環境・新環境基準適合ラベル                    |  |        |                       |
|----------------------------------|--|--------|-----------------------|
| 用紙名                              |  | 詳細資料   |                       |
| 環境・新環境基準適合ラベル（ホワイト・ゴールドラベル）交付申請書 |  | ダウンロード | JABIA規格<br>E0001-2025 |
| 3R判断基準ガイドライン                     |  | ダウンロード | JABIA規格<br>E0001-2025 |

# 交付申請書の作成

申請書と一緒に提出する  
資料を確認します。

ここは新環境基準適合ラベルの  
申請箇所なので、今回は不要です。

一般社団法人 日本自動車車体工業会 環境委員会事務局行き [kankyo@jabia.or.jp](mailto:kankyo@jabia.or.jp) 【添付資料6】

「環境基準適合ラベル（通称：ホワイトラベル）」  
「新環境基準適合ラベル（通称：ゴールドラベル）」

交付申請書

お申し込みの対象ラベルをチェック☑下さい。（☐内をクリックすると☑となります）

☐ 「環境基準適合ラベル」を交付申請します。  
☐ 「新環境基準適合ラベル」を交付申請します。

|           |  |      |  |
|-----------|--|------|--|
| 申請日       |  | 申請機種 |  |
| 型式、又は機種概要 |  |      |  |

上記の機種(架装型式)以外に使用しないことを誓約致します。

環境基準ラベルおよび、新環境基準適合ラベル要件チェック(ホワイトラベル、ゴールドラベル共通)

| 資料名                   | 申請者<br>確認                     | 事務局<br>判定                   | 分科会<br>判定                   |
|-----------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1.3R判断基準ガイドラインの作成・運用  | <input type="checkbox"/> 資料提出 | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |
| 2.解体マニュアルの作成および公開(※1) | <input type="checkbox"/> 資料提出 | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |
| 3.製造者名の表示             | <input type="checkbox"/> 資料提出 | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |
| 4.樹脂部品材料の表示           | <input type="checkbox"/> 資料提出 | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |

(※1) 同一機種の生産台数が10台以下の場合に必要な情報を本体に表示、または要求時に開示できる体制が整っていれば、解体マニュアルを作成しなくてもよい。

新環境基準適合ラベル要件チェック(ゴールドラベルのみ)

| 資料名  | 報告値 | 申請者<br>確認                                | 事務局<br>判定                   | 分科会<br>判定                   |
|--|-----|--|-----------------------------|-----------------------------|
| 5.車体製品部材のリサイクル可能率計算書<br>リサイクル率 95%以上(※2)               |     | <input checked="" type="checkbox"/> 資料提出 | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |
| 6.環境負荷物質フリー宣言証明(※3)<br>文章・HPなどで社会に公開                   |     | <input type="checkbox"/> 資料提出            | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |
| 7.環境認証取得工場での生産証明<br>①ISO14001 ②エコアクション21<br>③その他の第三者機関 |     | <input checked="" type="checkbox"/> 資料提出 | <input type="checkbox"/> 合格 | <input type="checkbox"/> 合格 |

(※2) リサイクル可能率 = リサイクル可能材料質量(kg) / 使用材料合計質量(kg)  
また、軽量化により95%未満となる場合は、リデュース係数を乗じて再計算する  
(※3) 会社、又は製品単位で宣言有り

|           |   |  |       |  |  |
|-----------|---|--|-------|--|--|
| 申請会員名     |   |  |       |  |  |
| 所在地       | 本社  |  |       |  |  |
|           | 製造工場  |  |       |  |  |
| 車体工業会所属部会 | <input type="checkbox"/> トラック <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 特装 <input type="checkbox"/> 小型 <input type="checkbox"/> 特種 <input type="checkbox"/> トレーラ <input type="checkbox"/> バン |  |       |  |  |
| 申請者       | 氏名  |  | 所属・役職 |  |  |
| 申請者連絡先    | TEL   |  | FAX   |  |  |
|           | Eメール  |  |       |  |  |

適合確認

| 環境基準適合確認日 | 環境基準適合番号 | ラベル区分 | 事務局欄    |
|-----------|----------|-------|---------|
| 年 月 日     | JABIA 環境 | —     | ホワイトラベル |
|           | JABIA新環境 | —     | ゴールドラベル |
| 通信欄       |          |       |         |

※eメールにて申請される場合は、本紙はpdfファイル化せずにWordファイルのまま提出してください。

ダウンロードした用紙に  
必要事項を記載

## ・ラベル交付申請

交付申請書はWordファイルのまま、その他の書類はpdfファイルにして  
車体工業会事務局へeメールで提出してください。

交付申請受領後、1週間程度で適合確認結果を回答致します。

## ・ラベル購入

車体工業会HPの「SHOP」から購入してください。

FAXによる申し込みも可能です。

「環境基準適合ラベル」及び「新環境基準適合ラベル」



ホワイトラベル：5,000円/100枚 1,400円/20枚  
ゴールドラベル・小：6,000円/100枚 1,600円/20枚  
ゴールドラベル・大：10,000円/100枚 2,400円/20枚

※金額は消費税別です。  
※その他に送料（実費+梱包費）が必要です。

お申し込みはこちら  
Sign up here

ラベル購入申込書ダウンロード (FAX用)

環境基準適合ラベルについて

環境基準適合ラベル（ホワイト・ゴールドラベル）交付申請書

新環境基準適合ラベル（ゴールドラベル）リサイクル可能率計算書

FAX用申込書